

薬事情報やまなし

一般社団法人 山梨県薬剤師会
薬事情報センター

- | | |
|--|-------|
| ■ 薬事情報センターからのお知らせ | 【P 1】 |
| ○熱中症に注意 | |
| ○熱中症になった時は個別評価型病者用食品経口補水液リーフレットの周知及び活用について | |
| ○香りへの配慮に関する啓発ポスターの再周知について | |
| ○2026年度公認スポーツファーマシスト新規受講者募集について | |
| ○薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブックについて | |
| ○定期購読から | |
| ○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について | |
| ○日薬ニュース | |
| ■ 山梨県からのお知らせ | 【P 8】 |
| ○令和8年度「愛の血液助け合い運動」の実施について | |
| ■ 医療保険委員会からのお知らせ | 【P 9】 |
| ○禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧
（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧） | |

山梨県薬剤師会ホームページアドレス：<https://www.ypa.or.jp/>

〒400-0027 甲府市富士見1-2-4

TEL：055-255-1507

FAX：055-254-3401

薬事情報センターからのお知らせ

○熱中症に注意

熱中症とは、高温な環境下で、発汗による体温調節等がうまく働かなくなり、体内に熱がこもることによって様々な症状がみられる状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていない時でも発症し、場合によっては死亡することもあります。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

【熱中症を防ごう】

❖暑さを避ける、身を守る

室内

- ・エアコン等で温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれを利用
- ・室温をこまめに確認
- ・WBGT値も参考に

屋外

- ・日傘や帽子の着用
- ・日陰の利用、こまめな休憩
- ・天気の良い日は、日中の外出を出来るだけ控える

❖からだの蓄熱を避けるために

- ・通気性の良い、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす

❖こまめに水分を補給する

- ・室内でも屋外でも喉の渇きを感じなくてもこまめに水分を補給しましょう



熱中症の予防はできていますか? ☒

☐ こまめに水分補給 をしている	☐ エアコン・扇風機を 上手に使用している	☐ シャワーやタオル で体を冷やす
☐ 部屋の温湿度を 測っている	☐ 暑い時は無理をし ない	☐ 涼しい服装をしている 外出時には日傘、帽子
☐ 部屋の風通しを良く している	☐ 緊急時・困った時の 連絡先を確認して いる	☐ 涼しい場所・施設 を利用する

環境省 熱中症予防情報サイト(スマートフォン・携帯対応)
<http://www.wbgt.env.go.jp/sp>

©環境省

○熱中症になった時は個別評価型病者用食品経口補水液リーフレットの周知及び活用について

標記の件につきまして、日本薬剤師会を通じて財団法人日本健康・栄養食品協会理事長、特別用途食品制度に活用にかんする研究会座長より、経口補水液に関するリーフレットの周知及び活用依頼がありました。

本リーフレットは熱中症の対処に有用な経口補水液の適切な使用方法に関するもので、一般生活者に向けた「適切な使い方」がまとめられています。

・「熱中症になった時は個別評価型病者用食品 経口補水液」リーフレット（日本健康・栄養食品協会）
<https://www.jhnfa.org/tokubetsu-panfu.html>



○香りへの配慮に関する啓発ポスターの再周知について

標記の件につきまして、日本薬剤師会を通じて厚生労働省よりお知らせがありました。標記ポスターについては、消費者生活センター等に対し、柔軟剤などの香りで頭痛や吐き気がするといった相談が寄せられていることを踏まえ、消費者庁や厚生労働省等の関係省庁により作成され、周知されておりました。

今般、柔軟剤などを使用する消費者への香りのマナー啓発をさらに推進するため、関係省庁としてこども家庭庁及び国土交通省が当該ポスターに追加されました。



○2026年度公認スポーツファーマシスト新規受講者募集について

公認スポーツファーマシストは、薬剤師の資格を有した方が、所定の課程（アンチ・ドーピング規則を中心に広くスポーツと関係する内容）修了後に認定される資格制度です。

スポーツにおけるドーピングを防止することを目的に、学生・アスリートを含めたスポーツ愛好家などに対してアンチ・ドーピングや薬に関する健康教育などの普及・啓発にご協力いただく活動です。日本アンチ・ドーピング機構より、2026年度公認スポーツファーマシスト受講者募集要項が公開されました。是非、ご参加ください。

募集要項

受講資格	基礎講習会の受講時点で薬剤師の資格を有している方。 ※年齢は問いません。
申込要件	公認スポーツファーマシスト認定プログラムはオンライン開催になります。 受講申込手続き、講習受講などはすべてオンラインでの実施になります。メール受信、Webブラウザでのeラーニングの受講など、安定的なインターネット利用環境を有し、ご自身で操作できる方が対象となります。
募集申込 受講期間	令和8年6月17日（水）12時～ 7月15日（水）17時
【基礎講習】	令和8年9月 1日（火）12時～10月20日（火）17時
【実務講習】	令和9年1月13日（水）12時～ 2月17日（水）17時
認 定	令和9年4月
募集定員	2,000名
受講料	9,900円（税込）【テキスト代を含む／認定料22,000円別途必要】
申込方法	公認スポーツファーマシストウェブサイトより受講システム（manaable）へ新規会員登録のうえ、受講申し込みしてください。

※詳細につきましては、日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシストのページでご確認ください。

(<https://sportspharmacist.jp/acquire/application/>)

○薬剤師のためのアンチ・ドーピングガイドブックについて

日本薬剤師会において、青森県薬剤師会、その他多くの方々にご協力頂き、「薬剤師のためのドーピング防止ガイドブック2026年版」が作成されました。

日本薬剤師会ホームページでガイドブック（PDF）が公開されておりますので、ご活用ください。

日本薬剤師会ホームページ＞日本薬剤師会の活動＞アンチ・ドーピング活動

(<https://www.nichiyaku.or.jp/yakuzaishi/activities/anti-doping/about>)

ドーピング禁止薬に関する問合せについては、山梨県薬剤師会薬事情報センターへ原則としてFAX（055-254-3401）でお願いします。内容により日本薬剤師会に問合せをしますので回答に数日かかる場合があります。問合せ用紙を巻末P11に掲載いたしますのでご活用ください。

○定期購読から

薬事情報センターで定期購読している雑誌の目次を一部掲載したものです。
貸し出し、FAX、コピー等ではできませんので、事務局にて閲覧をお願いします。



月刊薬事 2026 Vol.68No.8

【特集】併存疾患もまるごと最適化しよう
持病のある患者ががんになったら

- ・慢性疾患を合併したがん患者のマネジメント
- ・がん患者の全身マネジメント
 - ・がん治療と骨代謝
 - ・がん患者のリハビリテーション
 - ・がんと栄養学の関わり etc
- ・がん患者の感染管理
 - ・固形がん患者の感染管理
 - ・血液がん患者の感染管理 etc

◇精神科のおくすり事情

- ・自殺現場を目撃後、恐怖や不安が頭から離れない女性



調剤と情報 2026 Vol.32No.7

【特集】こっそり学び直したい薬剤師のためのホルモンの学校

2限目：副腎皮質ステロイド（内服）

- ・プレドニゾロン錠5mg処方での3つのパターン
処方箋から読み解くステロイドの使い分け
- ・副腎皮質ステロイドの基礎知識
- ・漸減中止と副作用管理—薬局でのポイント
- ・膠原病・リウマチ性疾患—長期管理と副作用
- ・副腎不全—補充療法とシックデイルール
- ・気管支喘息（成人）とCOPDにおけるステロイド
- ・小児とステロイド—副作用と治療の考え方 etc

【今月の話題】

- ・令和8年度診療報酬・調剤報酬改定について



薬局 2026 Vol.77No.7

【特集】現場のリアルを「薬学」する

向精神薬の適応外使用

- ・添付文書にない処方はどう向き合う？薬学的介入の基本
- ・向精神薬の適応外処方のリアルに向き合う
 - ①せん妄、②BPSD、③睡眠障害、④終末期の不穏、興奮、不眠、⑤がん患者の悪心・嘔吐、⑥小児・青年期の自閉スペクトラムに伴う易刺激性、攻撃性、⑦老年期の摂食低下、体重減少、⑧神経障害性疼痛、慢性腰痛、⑨更年期などに伴う自律神経症状、⑩頻脈、循環器疾患、⑪慢性咳嗽、呼吸困難

○薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業について

医療安全対策委員会では、標記事業の参加登録の推進を行っております。共有すべき事例 2026 年 No. 4 が公開されています。

日本医療機能評価機構ホームページからご覧いただけます。

(<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)

参加登録及び事例報告をお願いいたします。

共有すべき事例 2026 年 No. 4

事例 1 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【名称類似薬の処方間違い】

事例	【事例の詳細】 患者にゾフルーザ錠 20mg が処方された。薬剤を交付する際にインフルエンザウイルス感染症の治療薬であることを説明したところ、患者は処方医から、新型コロナウイルス陽性であると説明されていたことがわかった。患者が持参した検査結果報告書からも新型コロナウイルス陽性であることが確認できたため、薬剤師は処方された薬剤が適切でないと考え、処方医に疑義照会を行った。その結果、ゾコーバ錠 125mg に変更になり、それに伴い用法・用量も変更された。 【推定される要因】 ゾコーバ錠とゾフルーザ錠はどちらも抗ウイルス薬であり、名称が「ゾ」で始まる薬剤であることから、処方時に間違いが生じた可能性がある。 【薬局での取り組み】 抗ウイルス薬が処方された際は、患者の症状を聴取するとともに検査結果を確認する。		
その他の情報	販売名	ゾフルーザ錠 10mg / 20mg / 顆粒 2% 分包	ゾコーバ錠 125mg
	名称の由来	「フルーザ」はインフルエンザに由来	「コーバ」は COVID-19 に由来
	効能・効果	A 型又は B 型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防	SARS-CoV-2 による感染症
	投与方法	単回経口投与	1 日目は 375mg を、2 日目から 5 日目は 125mg を 1 日 1 回経口投与
塩野義製薬株式会社『ゾフルーザ®』と『ゾコーバ®』の間違い注意のお願い（2026 年 1 月）より一部引用（参照 2026 年 2 月 9 日）			
事例のポイント	・本事業には、ゾフルーザ錠とゾコーバ錠の間違いの事例が複数報告されている。これらの事例を活用して、2026 年 1 月に製薬企業から「ゾフルーザとゾコーバの間違い注意のお願い」※が発信された。 ※「ゾフルーザ®」と「ゾコーバ®」の間違い注意のお願い ・ゾフルーザ錠とゾコーバ錠の処方間違いの事例は、本事例のように薬剤師が患者から聴取した感染症の種類と処方された薬剤の効能・効果が一致しないことから疑義照会を行った事例のほか、ゾフルーザ錠が数日分、あるいはゾコーバ錠が 1 日分処方された事例など、薬剤師が用法の間違いに気付いて疑義照会を行ったところ、処方間違いが判明した事例も報告されている。 ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症などの患者が来局した際は、患者の体調だけでなく、他の来局者への感染防止にも配慮する必要があり、対応する薬局・薬剤師の負担は大きい。このような状況下であっても、処方監査を行う際は、処方された抗ウイルス薬の用法・用量が適切		

	であるか確認するとともに、患者から感染症の種類を聴取し、処方薬と照合することが重要である。
--	---

事例2 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【投与量】

事例	【事例の詳細】 施設に入所している患者に、ラゲブリオ錠400mg 1回4錠 1日2回朝夕食後5日分とコロナール錠200 1回2錠 10回分発熱・疼痛時が処方された。薬剤師が処方監査を行った際にラゲブリオ錠400mgの1回量が1600mgになることに気付き、疑義照会を行った結果、ラゲブリオ錠400mg 1回2錠 1日2回に変更になった。 【推定される要因】 処方医が勤務する医療機関ではラゲブリオカプセル200mgが採用されていたが、最近、ラゲブリオ錠400mgに切り替わっていた。処方医はそのことを失念していたため、ラゲブリオ錠400mgの用量を入力する際にラゲブリオカプセル200mgのカプセル数を入力したと推測される。 【薬局での取り組み】 ラゲブリオが処方された場合には、用法・用量、併用薬との相互作用などのほか、規格・剤形についても確認する。		
その他の情報	販売名	ラゲブリオカプセル200mg	ラゲブリオ錠400mg
	用法・用量	通常、18歳以上の患者には、モルヌピラビルとして1回800mgを1日2回、5日間経口投与する。	
	販売開始	2021年12月	2025年5月
事例のポイント	(2026年2月9日現在) - 新型コロナウイルス感染症経口治療薬のラゲブリオは、2025年5月にラゲブリオ錠400mgが発売され、先に販売開始されたカプセル剤(200mg)と併せて規格・剤形が異なる2種類の製剤が販売されている。 - ラゲブリオカプセル200mgは、1回4カプセル服用する薬剤である。一方、ラゲブリオ錠400mgは1回2錠服用する薬剤であり、カプセルと比較して小さく、服用時の負荷を軽減できることが期待されている。 - 本事業には、ラゲブリオ錠400mgの発売以降、採用薬をラゲブリオカプセル200mgから切り替えた医療機関からラゲブリオ錠400mgが誤った用量で処方され、過量であることに気付いた薬剤師が疑義照会を行い、用量が変更になった事例が報告されるようになった。 - 薬剤師は、ラゲブリオは規格・剤形の異なる2種類の製剤が販売されていることを踏まえ、医療機関が採用薬の規格を変更した後は用量の処方間違いが生じやすいことを認識し、処方監査の際には、薬剤の規格・剤形、1回量・1日量に間違いがないか確認することが重要である。		

事例3 疑義照会・処方医への情報提供に関する事例【病態禁忌】

事例	【事例の詳細】 患者に泌尿器科からベサコリン散5%とエブランチルカプセルが処方された。患者は当薬局の利用が初めてであり、お薬手帳を見ると他の医療機関の循環器内科から狭心症の治療薬が処方されていた。ベサコリン散5%の添付文書には冠動脈閉塞のある患者には禁忌と記載があるため、循環器内科に連絡した。患者のカルテから冠動脈拡張術の既往歴があることはわかったが、主治医が不在のためベサコリン散5%服用の適否について直接確認することができなかった。その旨を泌尿器科の処方医に報告した結果、ベサコリン散5%はひとまず削除することになった。後日、薬剤師は循環器内科に連絡し、主治医に直接確認したところ、ベサコリン散5%の服用は避けるよう指示を受けたため、泌尿器科の医師に報告した。
----	---

	【推定される要因】 泌尿器科の医師は、患者の既往歴を把握できていなかった可能性がある。 【薬局での取り組み】 服用している薬剤から患者の病態、既往歴まではわからない場合があるため、処方している医師に尋ね、他科の併用薬についても問題ないか確認を行う。
その他の情報	ベサコリン散5%の添付文書 2023年4月改訂（第2版）（一部抜粋） 2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.6 冠動脈閉塞のある患者〔冠血流量を減少させ、心疾患の症状を悪化させるおそれがある。〕
事例のポイント	・患者の病態や既往歴は、薬剤服用歴や患者からの聴取だけでは十分に把握できない場合がある。病態禁忌などの確認に必要な情報が不足している場合には、治療を担当する医師に直接問い合わせ、他科の治療に関する情報なども提供し、判断を仰ぐことが重要である。 ・本事例は、薬剤師が、患者の病態がベサコリン散5%の禁忌に該当する可能性を疑い、泌尿器科の他に受診している循環器内科の医師にもベサコリン散5%の服用の適否について直接確認した事例である。患者の治療に関わる他の医師とも連携を取り、丁寧に対応した好事例である。 ・オンライン資格確認等システムの活用により、複数の診療科や医療機関を受診する患者の情報を共有するための基盤が整備されつつあるが、医療機関間や医師間の情報共有が十分に行われているとは言い難い状況も依然として存在している。 ・複数の医療機関・医師を受診する患者の調剤を行う薬剤師は、患者の処方薬を一元的・継続的に把握するとともに、治療中の疾患や既往歴に関する情報を収集する必要がある。患者の病態や治療に影響を与える可能性のある薬剤が処方された際には、処方医だけでなく治療に関わる他の医師に対しても積極的に情報提供し、確認する姿勢が求められる。

○日薬ニュース

【第322号】

- ・令和7年度保険調剤の動向まとまる
- ・要指導・一般用医薬品等販売の総合手引きについて
- ・【重要】会員番号・会員IDの確認方法
- ・第59回日薬学術大会（新潟大会）事前参加登録受付中！
- ・【重要】新・会員限定サービス「日薬アプリ」スタート！
- ・「日薬雑誌電子書式」「日薬雑誌アプリ」のご活用を！

【号外 - 270】

- ・ラックビー錠 自主回収（クラスⅡ）および出荷停止に関するお詫びとご案内

山梨県からのお知らせ

○令和8年度「愛の血液助け合い運動」の実施について

目的

医療に必要なすべての血液製剤を国民の献血によって安定的に確保する体制を早期に確立するため、広く県民の方々に献血に関する理解と協力を求めるとともに、継続的な推進が必要な成分献血・400mL献血への協力と血液製剤の適正使用への協力を求め、献血運動の一層の推進を図る。

期間

令和8年7月1日(水)～7月31日(金)

運動の内容

- (1) 献血協力者の安定確保の推進
将来の献血支持層を担う若年層の献血意識の高揚を図る。
- (2) 複数回献血の推進
複数回献血を推進し、輸血用血液の安定供給や安全性を図る。
- (3) 甲府献血ルームの活用の推進
献血ルームが、若年層を含む幅広い世代の方々に利用していただけるよう、活用を広く県民に呼びかけていく。
- (4) 血液製剤の適正使用の推進
有限で貴重な血液製剤を有効に使用するため、輸血を行う医療機関の関係者に対し、血液製剤使用適正化の推進を図る。
- (5) 献血予約の推進
安定的に輸血用血液を確保するため、献血予約の推進を図る。



甲府献血ルームは、12月31日と1月1日を除く毎日、午前9時30分から午後4時30分（成分献血は午後3時30分）まで献血を受け付けております。皆様のご協力をお願いいたします。

甲府献血ルーム：甲府市中央2-9-21 ファース甲府ビル2階 TEL：055-235-3135



禁煙外来（保険適用）受診医療機関一覧

（ニコチン依存症管理料の施設基準届出済み医療機関一覧）

甲府市

あきやま医院	東下条町 80-2
今井循環器呼吸器科	住吉 1-10-4
大久保内科呼吸器科クリニック	丸の内 1-19-18
小沢耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	朝日 1-8-13
内科小児科小野医院	貴川 2-2-11
オーブクリニック	上今井町 947-1
くぬぎクリニック	北口 1-1-8
甲府共立診療所	宝 1-10-5
甲府共立病院	宝 1-9-1
こうふサザンクリニック	徳行 2-14-26
斉藤内科循環器科医院	国母 8-26-13
順聖クリニック	湯村 1-5-19
医療法人慈光会 甲府城南病院	上町 753-1
市立甲府病院	増坪町 366
医療法人慶友会 城東病院	城東 4-13-15
住吉病院	住吉 4-10-32
心療内科たけうちクリニック	国母 7-5-17 サンライズ甲府ビル 2A
塚原整形外科	丸の内 2-9-14
露木耳鼻咽喉科医院	中央 4-9-2
医療法人仁明会ながまつ医院	宮原町 88-1
東甲府医院	桜井町 299
ひろクリニック	中小河原 1-9-12
深澤内科クリニック	国母 5-19-18
ふじ内科クリニック	緑ヶ丘 1-4-16
藤原医院	塩部 4-15-16
古川内科・皮フ科	国母 1-4-8
フルリアル甲府みんなのクリニック	塩部 1-10-11
望月クリニック	塩部 4-16-2
山梨県厚生連健康管理センター	飯田 1-1-26
山梨県立中央病院	富士見 1-1-1
湯村温泉病院	湯村 3-3-4
横田内科小児科医院	上石田 2-30-44
楽天堂内科整形外科	朝気 1-1-29

笛吹市

磯山医院	石和町四日市場 2031-106
一宮温泉病院	一宮町坪井 1745
弦間医院	一宮町末木 864-2
医療法人銀門会甲州リハビリテーション病院	石和町四日市場 2031-25
境川診療所	境川町石橋 2207-1
三枝クリニック	石和町河内 37-2
清水内科クリニック	石和町駅前 6-2
しむら医院	石和町東高橋 131
医療法人康麗会笛吹中央病院	石和町四日市場 47-1
医療法人博友会 三科医院	春日居町桑戸 698-1
望月内科クリニック	御坂町井之上 819-1

山梨市

飯島医院	小原西 5
加納岩総合病院	上神内川 1309
坂の上クリニック	東後屋敷 986-8
山梨市立牧丘病院	牧丘町窪平 302-2

甲州市

甲州市大藤診療所	塩山上栗生野 13-1
甲州市立勝沼病院	勝沼町勝沼 950
松里診療所	塩山三日市場 1982-1

韮崎市

いいのクリニック	本町 2-14-15
岩下内科医院	若宮 1-2-50 韮崎市民交流センター3F
韮崎市国民健康保険韮崎市立病院	本町 3-5-3

北杜市

中田医院 中国医学研究所	須玉町若神子 608
北杜市立白州診療所	白州町白須 1341
北杜市国保辺見診療所	明野町上手 1-12
武川診療所	武川町牧原 1371

甲斐市

赤坂台病院	竜王新町 2150
くろだ小児科・耳鼻科	西八幡 1939-2
敷島クリニック	中下条 246
清水内科循環器科医院	篠原 1429-1
中沢クリニック	竜王 3091-1
原口内科・腎クリニック	篠原 2975-1
内科・呼吸器内科 保坂クリニック	竜王新町 2298-6
竜王ファミリークリニック	富竹新田 1757-1

昭和町

あいのた内科消化器科クリニック	中西条 1481-2
風間内科医院	押越 916-1
昭和メディカルクリニック	飯喰 404-2
森川医院	河東中島 1903

中央市

きたむらクリニック	若宮 23-2
玉穂ふれあい診療所	成島 2439-1
西野内科医院	山之神 2389-1
若葉クリニック	浅利 1686-2

南アルプス市

こうの内科クリニック	桃園 1688-3
巨摩共立病院	市桃園 340
白根なかざわクリニック	在家塚 52-6
白根徳洲会病院	西野 2294-2
まつざきクリニック	下宮地 624

富士川町

峡南医療センター企業団 富士川病院	蹴沢 340-1
----------------------	----------

身延町

身延町早川町国民健康保険 一部事務組合立飯富病院	飯富 1628
-----------------------------	---------

南部町

南部町国民健康保険診療所	南部 8050-1
--------------	-----------

市川三郷町

医療法人啓徹会市川メディ カルクリニック	高田 518-1
溝部医院	市川大門 1235

大月市

地方独立行政法人 大月市 立中央病院	大月町花咲 1225
稚枝子おおつきクリニック	大月 1-8-5
武者医院	大月 1-15-18

都留市

都留市立病院	つる 5-1-55
東桂メディカルクリニック	十日市場字名主目 958-1

上野原市

上野原市立病院	上野原 3504-3
---------	------------

富士吉田市

医療法人大田屋会 大田屋 クリニック	上吉田 5-8-3
大田屋ライフクリニック	上吉田東 7-2-7
医療法人和彦会 くわざわ クリニック	上吉田 2-13-2
高田内科クリニック	上吉田 4203-2
富士の森クリニック	上吉田 7-12-14
楽天堂整形外科	上吉田 2-5-1 富士急 ターミナルビル 5 階

富士河口湖町

かわぐち湖ファミリークリ ニック	小立 4115-1
山梨赤十字病院	船津 6663-1

鳴沢村

なるさわクリニック	鳴沢村 2126-1
-----------	------------

※この一覧は、あくまでもニコチン依存症管理料
の施設基準届出済み医療機関確認のための参考資
料として使用してください。

※医療機関から発行された該当処方せんの備考欄
には、保険適用の根拠として「ニコチン依存症管理
料の算定に伴う処方である。」と必ず記載されてい
ます。

(平成18年6月1日付 保医発第06010
01号 厚生労働省保険局医療課長通知、(2)の
①に記載)

万が一記載がない場合には、必ず医療機関へ疑
義照会が必要となりますので取扱いの徹底をお願い
します。

コピーまたは切り取ってご送付ください

ドーピング禁止薬に関する問合せ用紙（薬剤師会ホットライン用）

薬剤師会 宛

問合せ日： 年 月 日

氏 名：

電 話 番 号：

FAX 番 号 ※：

メールアドレス※：

※回答は FAX またはメールで行いますので、FAX 番号・メールアドレスを必ずご記入ください。

基本情報（以下の情報がないと正確な回答が行えない場合がございます）

- ① 質問者の立場 （ 医師・薬剤師・選手・AT・コーチ・保護者・その他（ ） ）
- ② 医薬品使用者の競技種目 （ ）
- ③ 医薬品使用者の性別 （ 男性 ・ 女性 ）
- ④ 医薬品使用者の年齢 （ 10・20・30・40・50・60・70・80・90 ） 才代

問合せ対象医薬品

	製品名 (会社名)	使用状況 (いずれかに○)	備考
1	()	未使用・使用中 過去に使用	
2	()	未使用・使用中 過去に使用	
3	()	未使用・使用中 過去に使用	
4	()	未使用・使用中 過去に使用	
5	()	未使用・使用中 過去に使用	

※ 医薬品名はフルネームで正確に記載してください（〇〇プレミアム、〇〇DXなど）。

※ 医薬部外品・健康食品・サプリメント・化粧品、海外の医薬品等については、医療上必須のものではない、成分表示が正しい保証がないなどの点から判断・回答できません。

※ 備考欄は、その医薬品に関して特別な事項がある場合にご記入ください。

※ 回答にお時間がかかることがありますので、ご了承ください。